

○第78回プリオン専門調査会

日時：平成25年2月6日（水）9：30～11：49

場所：食品安全委員会 大会議室

議事概要：

- ・事務局より、EUにおけるBSE検査体制について情報提供を行った。
  
- ・諮問事項（3）の30か月齢よりさらに月齢の規制閾値を引き上げた場合のリスク評価手法の検討状況について、筒井専門委員から説明の後、議論が行われた。
  
- ・BSE対策の実施状況の確認に関し、日本をモデルケースとした点検表について、山本専門委員から説明の後、議論が行われた。  
また、有病率等の推定と検査月齢変更によるヒトへの感染リスクに関連した知見を整理した内容について、事務局が説明した。
  
- ・これまでの整理した各事項のまとめについて、山本専門委員から説明の後、議論が行われた。
  
- ・議論の中で、日本については、飼料規制の強化、または、出生年月ベースで最終発生後の出生コホートについて11年間定型BSEの発生が確認されず、又、BSE制御に有効な一定水準以上の規制が行われ、その管理措置が効果的に機能していると判断されれば、人への健康影響はほぼ無視できるといえる。さらに、飼料規制の強化、または、出生年月ベースで最終発生後の出生コホートについては、当面の間、経過的措置として検査を継続することについて検討の必要がある、などの意見が出された。
  
- ・本日の議論を踏まえ、次回までに起草委員が更なる検討をすることとされた。
  
- ・次回の開催については、日程調整の上、決定することとされた。

以上